

授業科目名： 特別活動の指導法（中等）	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 1単位	担当教員名： 高橋 正尚 担当形態： 単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科 目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目（中学校）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	特別活動の指導法		
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標			
<p>(1) 特別活動の意義や必要性を理解し、効果的な実践指導について考えることができる。</p> <p>(2) 学級活動の内容に即した学習指導案を作成し、実践することができる。</p> <p>(3) 生徒会活動の意義を理解し、生徒会活動の支援の在り方を実践することができる。</p> <p>(4) 学校行事の意義を理解し、企画や指導等が実践できる。</p>			
授業の概要			
特別活動は、生徒が集団の一員として望ましい人間関係を形成し、よりよい生活を築こうとする自主的・実践的態度を育てることを目標としている。本講では学級活動・生徒会活動・学校行事の特別活動の内容について学修し、更にそこで求められている教師の実践的指導力を培うための基礎を学修する。			
授業計画			
第1回：特別活動の概要 第2回：特別活動の目標 第3回：学級活動の内容1（目標、内容） 第4回：学級活動の内容2（指導計画、内容の取扱い） 第5回：生徒会活動の内容1（目標、内容） 第6回：生徒会活動の内容2（学習過程、生徒会の指導方法） 第7回：学校行事の内容 第8回：学級活動の学習指導案の作成1（学習指導案の作成方法） 第9回：学級活動の学習指導案の作成2（事例についての学習指導案の検討） 第10回：新学習指導要領の要点 第11回：特別活動の目標・内容・学習過程・指導計画作成上の留意点 第12回：学級経営案、学習指導案の作成方法 第13回：学級活動の学習指導案作成 第14回：指導計画の作成にあたっての配慮事項 第15回：学校行事の指導計画書の作成			
スクーリングでの学修			
スクーリングではすべての内容について包括的に取り上げるとともに、第10回～第13回を実施する。			
テキスト			
文部科学省（2018）『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編』、 https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_013.pdf 渡部 邦雄・緑川 哲夫・桑原 憲一（編著）（2018）『新学習指導要領準拠 特別活動指導法 改訂版』日本文教出版、9784536601009			
参考書・参考資料等			
文部科学省（2018）『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 特別活動編』、 https://www.mext.go.jp/content/1407196_22_1_1_2.pdf			
学生に対する評価			
スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）			